

「平成22年 北九州CTゼミ活動報告」

北九州総合病院 渡邊 亮

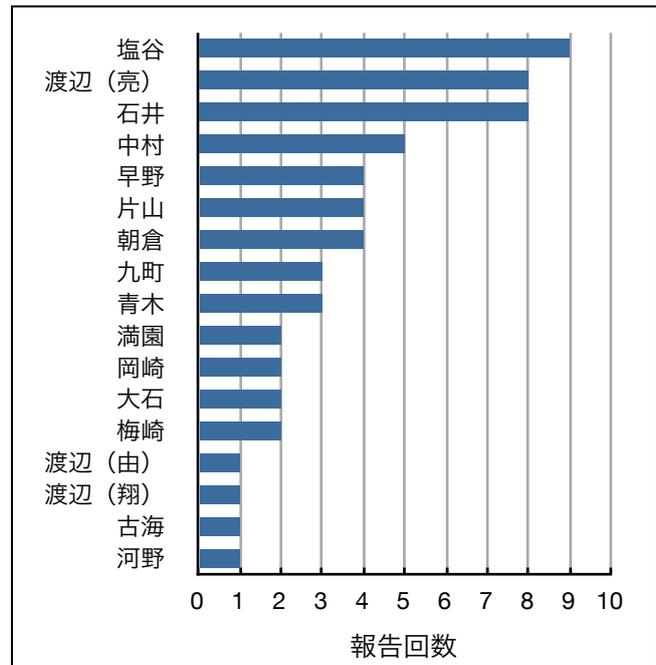
【活動実績】

1年間お疲れさまでした。皆さんの積極的な参加により、今年も毎月第2火曜日に、休むことなくゼミを開催することができました。

表1. 平成22年活動実績

開催日	内容	報告者
1月12日	北九州CT勉強会について	満園
	MLIについて	渡邊(亮)
	平成22年各人の取り組み課題と目標 九州CT研究会について CTサミットについて	ゼミ参加者 小川
2月9日	個人研究進捗状況報告	九町 石井 塩谷
	九州CT研究会について	小川
3月9日	九州CT研究会報告者による発表概要の報告	朝倉
		青木
		渡邊(亮) 塩谷 満園 満園
4月13日	九州CT研究会発表予行	岡崎 青木 朝倉
	個人研究進捗状況報告	塩谷 石井 渡邊(亮)
	九州CT研究会発表予行	九町 大石 朝倉 渡邊(亮)
5月11日	九州CT研究会発表予行	九町 大石 朝倉 渡邊(亮)
	個人研究進捗状況報告	石井
6月8日	CT研究会質疑応答報告	朝倉
		青木
		大石 渡邊(亮) 塩谷 九町 岡崎
個人研究進捗状況報告	塩谷 渡邊(亮) 古海 梅崎	
7月14日	個人研究進捗状況報告	渡邊(亮) 塩谷 石井 片山 中村 早野 渡邊(由)
	北九州CT勉強会について	満園
8月10日	個人研究進捗状況報告	渡邊(翔)
		塩谷 石井 片山 渡邊(亮) 早野 中村
		渡邊(亮) 梅崎 塩谷 石井 河野 中村
9月14日	個人研究進捗状況報告	渡邊(亮) 梅崎 塩谷 石井 河野 中村
	個人研究進捗状況報告	石井 片山 中村 早野 塩谷
10月12日	個人研究進捗状況報告	石井 片山 中村 早野 塩谷
	北九州CT勉強会によるアンケートについて	入江
11月9日	個人研究進捗状況報告	石井 早野 中村 片山
	北九州CT勉強会について	満園
12月14日	学会発表を終えて 平成22年を振り返って	

表2. 参加者の報告回数（個人研究報告のみ対象）



※2月～11月の10回が対象

平成22年の活動実績、ならびに参加者の報告回数を表にしました。今年も「個人研究進捗状況報告」が主な活動内容となりました。特に、5月の第3回九州CT研究会では、特別講演を除いた10演題中8演題がCTゼミからの報告でした。同会のアンケートの中でも、各演者の評価は高く、九州地域に広く北九州CTゼミをアピールできたと確信しています。

今年、CTゼミ内で報告された中から、学会発表された演題は13題でした。一昨年が14題、昨年が16題でしたので、数こそ減りましたが非常に多くの方が学会発表をされました。また、学会発表以外にも、セミナー、ユーザー会、勉強会の講師、学会の座長を務められた方もおり、CTゼミ参加者の活動範囲が、毎年広がっていくのを感じます。学会発表することがCTゼミを開催する目的ではありませんが、モチベーションを維持する理由としては簡単で有効だと思います。来年も、皆さんで

楽しく学会に行きましょう。

別資料として、今年1月に皆さんに報告していただいた「平成22年各人の目標と課題」をまとめました。目標通り行った方も行かなかった方も、後ほど1年を振り返って自分自身を総括してください。みんながみんな、毎年継続してうまく行くことなんて絶対にあり得ません。よって、目標通り行かなかった方は、自分の行動を顧みて、うまく行かなかった原因を自分なりに考えてみてください。それは、必ず次の飛躍に繋がると思います。また、今年初めて研究に取り組み、発表をされた方々は、来年以降、継続していくことが何よりも難しく大事になります。そのためには、研究に対する自分の取り組みにおいて、良かったところと悪かったところをしっかりと分析してください。このことは、継続する上でとても大事な作業だと思います。よって、経験の多さに関係ないのかもしれませんが、最初のうちに癖づけておくことが大事だと思います。

CTゼミは、参加者間での相互作用で成長する会です。自分が発表すること、そして他人の発表を聞くことで、個人の能力的・人格的スキルを上げることを目的としています。よって、他の参加者から与えられることだけを望むのではなく、ゼミ内で報告することで、他の参加者に返すことも常に考えていただきたいと思います。来月は、「平成23年各人の目標と課題」を報告して頂く予定です。CTゼミは、なにかすることが参加資格ですので、少しずつでも、ゆっくりでも、継続することを意識した前向きな報告を宜しくお願いいたします。